

悠久会東京支部総会のご案内

拝啓 新緑の候、会員の皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。さて今年度の悠久会東京支部総会を下記の如く開催致します。当日は、本部・母校並びに近隣支部から多数の来賓のご臨席を予定しております。ご多忙とは存じますが、皆様お誘いあわせの上ご出席頂きたくご案内申し上げます。特に、新入会員を迎えられた企業団体におかれましては、新入会員をお誘いの上ご参加下さいませようお願いいたします。なお準備の都合上、5月17日(土)迄に下記のメールアドレスに出欠のご連絡を頂きたく、(1)氏名、(2)卒年、(3)学科、(4)出欠 を記入してご連絡ください。尚、電子メールご利用不可の場合は、同封の葉書にて出欠の連絡を頂きたく宜しくお願い申し上げます。

出欠連絡先メールアドレス：**tokyo_adm1@yukyukai.gr.jp**
敬具

記

1. 日時 平成19年5月31日(土) 午後1:00～5:00
2. 会場 「東京ステーションコンファレンス」6階 602-A室
JR東京駅 八重洲北口改札より徒歩5分
東京メトロ東西線大手町駅より徒歩3分
東京都千代田区丸の内一丁目7番12号 サピアタワー
TEL 03-6888-8080 (代表) URL <http://www.tstc.jp>
最終頁に案内地図を掲載します。
3. 次第
 - 1) 総会 午後 1:00～2:00
本部から下記4名の先生方が参加される予定です。
仙石 正和 (電 42) 情報工学科教授(新潟大学副学長(理事)兼東京事務所長)
大川 輝 (院化 49) 工学部化学システム工学科教授
木竜 徹 (子 50) 大学院自然科学研究科教授(福祉人間工学科兼務)
山際 和明 (化 54) " " (化学システム工学科兼務)
 - 2) 講演会 午後 2:00～2:50
題目:「高齢者の介護について」(介護をする立場になったら困らないための準備等)
講師:田中龍彦氏(精密 38 卒)長岡市出身 日立精機(株)入社 H14年3月ご退職
元悠久会千葉支部長 現顧問 鎌ヶ谷市傾聴ボランティア会長
 - 3) 懇親会 午後 3:00～5:00

以上

東京支部便り

東京支部長 吉原武夫(機械 38)

円高ドル安が急速に進み、12年4ヵ月ぶりに1ドル100円を突破して、不安材料の多いこの頃ですが、会員の皆さん如何お過ごしでいらっしゃいますでしょうか。平和で経済の安定した平穩無事な生活が過ごせることを祈るのみです。さて、1年が過ぎるのも早いもので、また支部総会を開催する時期となりました。この1年間の東京支部の活動概況等をご報告させていただきます。

(1) 昨年10月には、新潟大学全学首都圏同窓会の幹事が工学部の担当ということで、悠久会首都圏各支部が協力し合って、大石通明会長(工・精密 30)をバックアップし、無事総会を終了することが出来ました。総会にご出席頂いた方やご支援頂いた方々に厚くお礼申し上げます。

総参加者数82名(内、工学部32名参加)でした。ご協力ありがとうございました。

(2) 囲碁同好会やゴルフ同好会の活動は後述の幹事さんからのご報告のように、年2回定期的に行われています。他支部からのご参加もあり活発に活動しています。是非ご関心のある方は幹事さんと連絡を取って奮ってご参加下さい。

(3) 特筆すべき事は、埼玉支部のふれあいさいたまウォーキングが20回目を迎えるにあたり、東京支部への合同ウォーキング開催のラブコールがあり、坪井副支部長に幹事となって頂き合同開催が出来ました。東京・石神井公園を散策と、終了後の懇親会で大変盛り上がりました。総勢18名参加の内、東京支部は5名の方にご参加頂きました。ご参加の皆さんへお礼を申し上げます。

当日は東海支部の津田良三氏(精密 48)が飛び入り参加され感激致しました。悠久会ホームページの東京支部欄で開催を知り、ご出張の折にご参加頂けたようです。ホームページの効用の大きさを感じさせて頂きました。

(4) 大学側との交流も図るべく、新潟大学・東京事務所の上野客員教授にも役員会にはいつもご参加頂き情報提供をして頂きました。今年2月1日には大学側も新執行部が大幅に変わり、長谷川学長から下條学長に交代になりました。新執行部の中で、前工学部長の仙石先生が理事・副学長(研究担当)に就任されました。工学部から、理事に就任されるのは多分、工学部が新潟へ移転してから初めてのようです。誠に記念すべきことで、益々のご活躍を期待するものです。

仙石先生は東京事務所長も兼務されるとのこと。東京事務所は東京支部が一番身近に大学と接しやすい場所でもありますので、今後大いに活用・交流を深めていきたいと思っています。

これらの期待を込めて、今回、仙石先生に特別寄稿をお願い致しました。日本の将来を

考えると、ものづくりの重要性を再認識して、工学部離れを防止し、工業立国としての再興が必要な時期に来ているように思います。

そういう意味でも、会員の皆様も東京事務所で定期的に行われている、イノベーションクラブの講演会や懇親会に参加して頂き、会員の皆さんのノウハウを集積・提供頂くことによって、先輩・後輩の交流の場にもなり、かつ、技術の継承伝授の機会にも貢献出来るのではと思っています。是非、関心のある方はご参加頂きますようお願い申し上げます。

(5) 支部運営上の問題点として、財政再建事項として、支部総会等のご案内の発送経費の削減が急務です。会員からの年会費収入よりも、支部総会の案内状発送経費等に掛る費用が約 10 万円程毎年超過する状態です。東京支部の名簿上の会員数は多いのですが、実態はどうか正確には把握は出来ていません。次回本部で作成する名簿にはアンケートハガキの内容を見直して頂き、名簿の精度を上げていくように働きかけたいと思います。

支部総会等のご案内の発送経費を削減する為に、郵送に代えてメールアドレス（パソコン用）の保有者にはメールを活用して削減すべきとのご意見もあり、その方向で現在検討している状況です。

今回の支部総会のハガキにもそれらを加味した内容で、アンケートをしたかったのですが、メールアドレスの入れ替え更新等を誰がやるかなどなどまだ検討すべきことも多く、今後本部ともすり合わせが必要とのご意見もあり、今回は実施するのは見送ることに致しました。出来るだけ早い段階で、メールアドレス保有者にはメールのみでのご案内とさせて頂くようにしたいと思いますので、実施段階ではご協力頂きたいと切にお願い致します。ご意見等がございましたらご連絡頂けると幸いです。

(6) 昨年の支部総会は若い人が参加し易いようにと、平日の夕方に開催してみましたが、その効果は余りみられませんでした。平日開催では余り時間の余裕がなく、総会や講演会の時間もゆっくり取れませんので、今年はまた休日に開催することにしました。

今年の 5/31 の支部総会の講演会は高齢化の時代に相応しい、介護に携わっている田中龍彦氏（精密 38）に、「高齢者の介護について」（介護をする立場になった時に困らないための準備等）と題して行って頂く予定です。

尚、本部からは 4 名の先生にご出席頂けることになっています。先生方ともゆっくり談笑出来る良い機会ですので、ご都合の付く方は是非支部総会にご参加下さい。若い会員の皆様のご参加をお待ちします。

本年も何卒支部活動にご支援・御協力の程よろしくようお願い申し上げます。

以上

<特別寄稿>

“東京”は大きいし、魅力的

—新潟大学東京事務所、東京の思い出など—

仙石正和

(新潟大学理事・副学長、電気42)

新潟大学工学部同窓会(悠久会)の東京支部の皆様、日頃大変お世話になっておりありがとうございます。

本年2月1日から、新潟大学では長谷川彰学長(理学部)の任期満了にともない、下条文武教授(医学部)が新学長に就任いたしました。この新執行部のなかで、理事(研究担当)・副学長を仰せつかりました。もともと浅学非才ですが、全力を尽くす覚悟です。工学部関係では、平成15年4月から平成19年3月まで4年間、工学部長として大変お世話になりありがとうございました。今後も、様々な面でお世話になるとは思いますが、ご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

新潟大学には、ご存じのように「新潟大学東京事務所」(東京都港区芝浦3-3-6 キャンパス・イノベーションセンター 6階 611号室, 612号室, <http://www.niigata-u.ac.jp/gakugai/is/tokyooffice/index.html>)がごございます。この事務所は、首都圏における新潟大学の教育・研究・社会連携等各種情報の発信・収集や企業・同窓生等との交流を通して産学官連携の推進等を図るとともに、入学者の確保・学生の就職活動支援や新潟大学の全般的な広報活動等を行っていくことを目的としています。何故東京に事務所がとの質問には、東京は大きく日本の政治、経済、文化の中心的役割を果たしているからですとお答えすることにしてあります。この東京事務所を拠点として、“新潟大学東京イノベーションクラブ”が組織され活発に活動しています。同窓生はもちろん同窓生でなくとも会員になれます。悠久会の会員の方々もこのイノベーションクラブに加入され活躍されています。工学部を含む理系のみならず、医歯学系、文系の方々との交流には最適の場です。是非、多くの方々のご加入をお待ちしています。(悠久会事務所でも私にでも結構ですが、ご連絡をいただければ幸いです。)

新学長体制になって、初めての東京事務所講演会及び懇親会が平成20年2月23日(土)キャンパス・イノベーションセンターで、下条学長の出席のもとに開催されました。「チンギス・カン ～蒼き狼の実像～」, 「がん治療の進歩と今後の展望—TVなどでは聞けない老若男女へ最新予防と治療法を語る—」の講演の他、工学部の教員が開発した技術をもとに起業化されようとしている状況の報告まで、魅力的な内容で、多数の参加者の方々には満足されたと思います。

実は、この懇親会の席で、悠久会の東京支部の吉原支部長にお会いいたし、本原稿の執筆を依頼されたという次第です。吉原支部長には、様々な場面でお会いして後輩のために活動を頂いており、拙い文章を前提に、お引き受けさせていただきました。

ついでながらで恐縮ですが、私の“東京”との出会いとその思い出を述べさせていただきます。私は、地方の田舎の生まれ育ちで、東京は全くの未知でした。子供のころは、いわゆる“ラジオ少年”で、親からやっと思ってもらったハンダ鋸とテスターは、外に出かけるときいつも持ち歩いていました。ラジオを分解してその部品で送信機を作ったりしていました。暇なときはラジオの組み立ての雑誌や無線の本ばかりを読んでいました。雑誌の記事にときどき出てくる、“東京の秋葉原”の地名は、どのようなところだろうかと何時も夢見ていました。新潟大学1年生の夏休みに、テレビを自作しようと決心して、部品の調達に秋葉原行きを計画しました。何しろはじめてですから、今考えると無謀な計画でした。新潟から夜行列車に乗って、上野駅に着き、朝早いので、西郷さんの銅像あたりをぶらぶらして時間をつぶしました。東京は大きいと感じました。そして、秋葉原に向かいました。驚いたことに秋葉原には同じような部品店がいくつもあるのです。一日かけて、沢山の部品を登山用のリュックサック(ザック)に一杯買いました。部品のほとんどは中古、ブラウン管とチューナー(アンテナからの信号が最初に入る部分)は新品としました。ブラウン管の中古は性能が落ちており、チューナーは測定器のない素人には自作が難しかったからです。私のような田舎の人間に、秋葉原の部品店のおじさんたちの親切な助言は嬉しい思い出でした。田舎の家に帰って、ほとんど不眠不休の一週間でテレビがなんとか完成しました。様々な失敗がありましたが、画像が見えたときの感激は今でも忘れません。田舎の家では、東京オリンピックなどこのテレビで5年間ほど楽しんだようです。

この秋葉原の良い思い出を機会に、現在に至るまで、敢えて言えば、“特定の目的のない秋葉原通い”が続いています。ところで、秋葉原を仲介としての友人が何人かいますが、最近その一人が次のようなことを言いました。

“二宮尊徳(金次郎)は、「経済なき道徳は寝言、道徳なき経済は犯罪」と言ったとか(ある企業の社訓(標語)かもしれません)。これを聞いて、友人は、「産業(経済)のない科学は趣味、科学がない産業(経済)は詐欺」

なるほど！ 現代の社会情勢をみますと、私も友人のこの言葉には納得できる気がいたします。最近、自分自身は(勝手に)以下のように感じています。

「大学を見ない社会(産業)は余裕なく、社会(産業)を見ない大学は未来なし」

30年ほど前の社会(産業)と大学の関係は(極端な記述かもしれませんが)、社会(産業)は「大学はとにかく学生を適当に教育して卒業生を供給してくれればよい」と考え、大学は「社会(産業)とはできるだけ隔離した状況を大学に作って、独善的に教育をする」という雰囲気でした。現在は大きく変わってきています。相互に協力して、人材の育成を行わなければならないようになっていきます。

今後も変わらぬご支援をお願い申し上げる次第です。



悠久会東京支部囲碁同好会 一会を重ねて

幹事 田中公紀（電気51年）

みなさんこんにちは。悠久会東京支部囲碁同好会は、平成14年3月に発足し、会員の皆様が一番集まりやすいところ、ということで、八重洲にあります「いずみ囲碁ジャパン」にて年2回の開催を続け、7年目を迎えました。

今春の3月22日（土）には第13回の大会を既に開催いたしました。

本同好会では、23年卒から51年卒まで、41名の同窓棋士のみなさんにより、毎回白熱した対戦を展開しております。

また、大会後の行われる懇親会にも多数の参加があり、受賞者の挨拶、地域の囲碁普及談義、参加者の近況報告、そして母校の話題など、楽しく、かつ盛大に行われており、本同好会は同窓活動のひとつのあり方として好例になっております。

表：発足以来の参加者数の推移（13回は予定）

大会の回数	1 (02.03)	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13 (08.03)
大会	9	17	19	21	26	30	29	21	24	26	27	21	23
懇親会	7	13	14	17	14	23	21	17	13	19	18	12	15

本同好会の特色は、主催は東京支部であっても、他支部から多くの同窓棋士のみなさんに参加していただいている点であります。具体的には在住別に見ますと、東京14名、神奈川12名、埼玉7名、千葉6名、群馬1名、奈良1名となっております、囲碁愛好の同窓棋士の皆様に支えられ運営されております。

大会は持ち点数制で、会員の希望によりリーグを分けずに行われますので、上位者と下位者の対戦が楽しく行われていますから、級の人も気軽に入会出来ます。

新規会員は大歓迎でありますので、ご連絡は、幹事の田中（Tel.044-933-9686, t-hiroki@po.ntts.co.jp）までお願いいたします。

ゴルフ同好会

事務局 原 宏（電気35）

19年度は春・秋の2回、このところ定例になっている川崎国際ゴルフ場で開催しました。それぞれ参加は15名と18名でしたが、昨年秋の大会は第10回の節目の大会となり過去最高の参加人数となりました。

特筆すべきは、前回優勝の俵木さんは新潟・柏崎の方で仕事で長期出張でいられたのですが、たまたま元支部長の木下さんの紹介で飛び入り参加されて抜群の成績で優勝されました。このようにOBであれば枠に限りはありますが参加を歓迎しますので、ご希望があれば伝手を頼って連絡頂ければ幸いです。

尚、今年の春季の大会は4月22日川崎国際ゴルフ場で開催する予定です。

この会報が届く頃には既に終わっていることでしょうか。次回秋季大会の日程は4月22日に決めますので、総会では秋季大会(例年10月に実施)のご案内をさせていただきます。

編集後記

東京支部の皆様、お元気にお過ごしでしょうか？

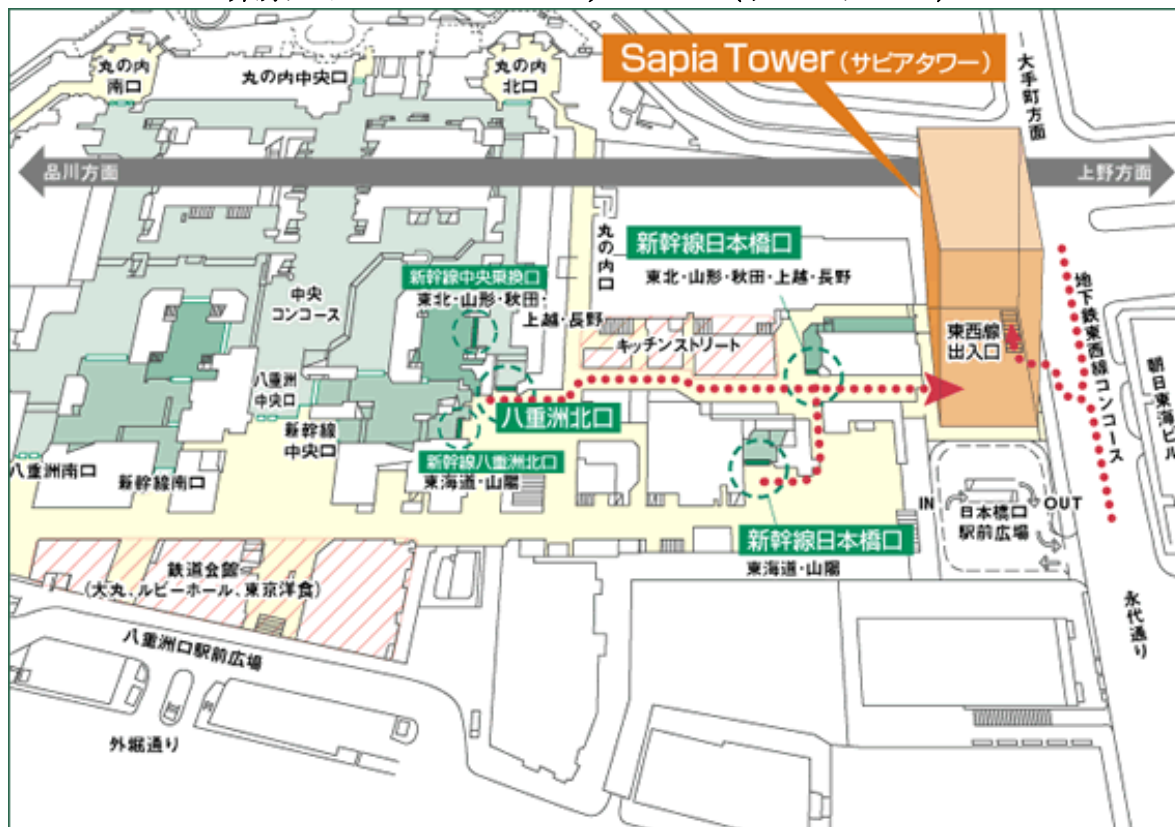
今回は吉原支部長よりの「支部便り」を掲載させて頂きました。また、新潟大学の仙石副学長より特別寄稿を執筆戴きました。また、囲碁同好会・ゴルフ同好会の活動報告も頂いております。

今年は寒い冬の訪れでしたが、無事、桜の季節も迎えることができました。5月31日（土）の支部総会では、講演も用意しており皆様の積極的なご参加をお待ちしております。仕事とはなれて恩師、同窓生と親交をあたためるのも良いことではないかと思えます。

（倉田盛彦・電子54）

支部総会会場案内図

東京ステーションコンファレンス (サピアタワー)



支部会費納入のお願い

東京支部の年会費は2千円です。支部総会の案内や会報の作成、印刷等に充当します。同封の郵便振込用紙をご利用下さい（振込手数料無料）。健全な支部活動を継続するためにも、支部会員の証として是非納入して頂きますようお願い申し上げます。

< 郵便局振替貯金口座 >

東京 00130-2-74881 加入者名 新潟大学工学部同窓会東京支部

< 銀行口座 >

みずほ銀行吉祥寺支店 普通 2387528 新潟大学工学部同窓会東京支部 代表 林 昭彦